



東日本大震災

被災者の痛み、理解して

AMD A医師ら講演

県立天大学院の公開講座「災害セミナー」が17日、北区奉還町2の岡山国際交流センターであり、東日本大震災被災地で救援活動を展開した国際医療救援団体「AMD A」(本部・北区)の医師らが高岡邦子さんを被災地に派遣している。

県立天大学院 災害セミナー
講演者の1人で医師の高岡邦子さんは、震災後1週間から岩手県大槌町に滞在。「当時は薬が不足しており、糖尿病などを患う人の受診が殺到した。多い日は1日200人にもなった」と振り返った。

約80人が参加し、被災者支援のあり方を考えた。

同大学院保健福祉学研究所の授業「災害医療援助特論」の一環で、毎年1回開かれており、今年で8回目。AMD Aは震災翌日の3月12日から設住宅への入居が始まっ

被災地の医療機関が再開された4月20日まで緊急医療チームを派遣。今夏は地元医療機関支援のため看護師らを被災地に派遣している。

支援物資が安定し、仮設住宅への入居が始まっ